市役所販売会のお知らせ

開催日：令和８年10月20日（火）、11月20日（金）
開催場所：天草市役所1F中央部≪ピンクの旗が目印≫
開催時間：10：00～14：00

～自分のための「ありがとう」～

私は、お店で買い物や食事をしてお金を支払った後、必ず「ありがとうございました」「ごちそうさまでした」と一言いう事を心がけています。
この事を意識したきっかけは学生時代に接客のアルバイトをしていた際、感謝の言葉をいただく事はとても気持ちよくなるとともに、一番傷つくのは終始無言で対応される事だと感じたからです。
大好きの反対語は無関心、とはよく言ったものだと思います。
こんな経験から、私は必ず感謝の言葉を伝えるよう心がける事になったのですが、この習慣で助かったことがありました。
とあるお店で商品を買った際、不良品だったためレシートを持って返品に行きました。ところが店員は、「一度封を開けた商品は返品は受け付けかねます」という対応をされました。その対応にやや不満を感じ、不良品である事、その事での返品を受け付けないのはおかしい事を主張し、その店員も渋々といった感じで対応されました。
私は自分がクレームを言ったことも不快に思いましたし、イライラを感じながらその対応を見届けました。
その不快を感じながらも、最後にお金を受けとる際、習慣的に「無理を言ってすみません。ありがとうございました」と伝えました。すると、その店員は「すみませんなんて、とんでもない！こちらの方が深くお詫びいたします」と慌てて丁寧な対応に変わり、心がこもった「申し訳ございません」という言葉が聞けました。
それまで不快な気持ちでいましたが、その言葉をいただき、とても清々しい気持ちで帰る事ができました。
「ありがとう」という言葉は相手のためだけではなく、自分のためにもなる言葉だと気づいた一日でした。
最後まで読んでいただき「ありがとうございました」。

施設長　長山直仁

社会福祉法人
あまくさ福祉会

利用時間　９：00～17：00
※日曜・祝日は休みとなります。

ホームページQRコード
SCAN ME!!

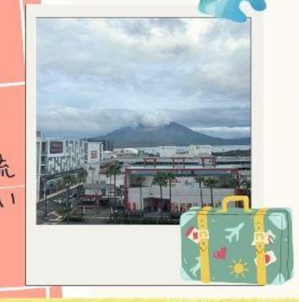
地域生活支援センターグリーン
〒863-2171　熊本県天草市佐伊津町401-5
TEL：0969-22-1770　FAX：0969-22-1771　E-mail：amakusafukushikai@a-fukushi.com

2026年 10月号
ほっとひといき グリーンティー
発行日　令和8年10月吉日
≪発信元≫地域生活支援センターグリーン
発行責任者　施設長　長山直仁

就労サポートセンター ぴ～す　WORK

ぴ～す慰安旅行 1泊2日旅 @鹿児島





9月18日～19日に1泊2日の旅行に行ってきました。
1日目は昼食で新鮮なマグロ料理を味わったり、アミュプラザ鹿児島に出かけショッピングやゲームを楽しみました。宿泊先のホテルでは温泉やタ食バイキングで英気を養い、大満足。
2日目は、いおワールドかごしま水族館で様々な海の生き物を間近に見ることが出来ました。その後の石橋記念公園では足湯ならぬ足水で癒され、昼食は鹿児島ならではの黒豚料理を堪能しました。
参加された皆さんからは「楽しかった」「また旅行に行きたい」などの声も聞かれ、笑顔いっぱいの2日間となりました。
今回の旅行を通して、利用者同士や職員との交流を深めるとともに、普段生活とは違った経験や思い出を作ることが出来ました。

新メンバー紹介します



10月から利用開始のTMさん

趣味
テレビ鑑賞
お宝鑑定団と野球中継が好き

好きな野球選手
松井秀喜さん
大谷翔平選手

意気込み
少しずつ他者とのコミュニケーションを増やしていきたいです！

事業所より
これからも野球の話など、色々なお話を聞かせてください！
利用者さんとも少しずつ交流を広げながら楽しく過ごしていけるといいですね。これからよろしくお願いします。

グリーントポス（グループホーム）

LIVE

トポス 夏の風物詩 BBQ＆花火



8月28日（金）毎年恒例のBBQを開催しました。お肉に野菜、焼きそば、おにぎりと盛りだくさんの食事に皆さん大満足な様子でした。食後のアイスまでおいしくいただき、暗くなってきたころで花火スタート！さまざまな仕掛けの花火を楽しみました。夏の思い出がぎゅっと詰まった一夜となりました。

生活介護・共生型通所介護

CARE

お誕生会

8・9月生まれの利用者さんの誕生日をお祝いしました。皆さんでHappy Birthdayの歌を歌い、風船バレーや棒倒しなどのレクリエーションを行いました。ゲームが終わるとお茶と手作りおやつを食べて笑顔いっぱいの一日となりました。



健康管理

毎週月曜日は健康管理の日です。
午前は体重測定をしてから体操など、体を動かす活動を行います。午後は「いきいき百歳体操」をして、皆さんで健康で長生きできるよう毎週取り組んでいます。



研修を振り返って・・・

研修を受けての感想を3名の職員に聞きました。

①新入職員研修

8月～9月に入職した5名の職員を対象に全3回の研修を実施しました。

BCP研修

私は今回、新人研修としてBCPについて学びました。BCPとは大地震などの自然災害や感染症のまん延と言った緊急事態に直面した際、重要な事業を中断させない、又は中断しても早期復旧させるための方針や計画のことを言うそうです。緊急時には、普段当たり前に行っている支援・サービスを行うことが難しくなると予想されます。そのような状況でも利用者様の命を守り、あまくさ福祉会の最優先業務「利用者様を安全確実に家族に引き渡す」を実施するために、職員同士で協力し、自分がどのように行動すればよいかを考え、備えていきたいと思いました。

生活介護事業　小野

身体拘束の適正化・虐待防止研修

身体拘束の規定、対象行為の説明の中で、「魔の拘束3ロックについて」と話があり、スピーチロックと初めて聞く言葉がありました。「ダメ、ちょっと待ってて、座ってて」など、相手の状況を考えずに強く言ってしまうことです。そうではなく、「あと〇分待ってもらえますか」、「座っていただけますか」などと話すと、相手への思いやり、尊重する気持ちが見えてきます。スピーチロックとは道具も必要なく、言葉だけで精神的ダメージを与える拘束です。これから研修で学んだことを意識しながら、仕事に取り組んでいきたいと思います。

相談支援事業　林田

②意思決定支援研修

10月全体職員会議内で意思決定支援委員会による職員研修を実施しました。

一昔前の福祉、介護の現場では、良かれと思って支援者が本人の代わりに選択をする傾向があったのではないでしょうか。しかし最も重要なのは本人の尊厳、主体性です。研修を受けて、本人が沈黙している時や一見わがままに見える行動の裏にも大切な意思、願いが隠れているかもしれないと気づきました。日々の表情、生活習慣や背景を考え、あらゆる手掛かりから「本人の願い」をくみ取るのも必要だと思いました。今後の業務では、日々の関りにおいて、本人の言葉の裏に抱えている不安や価値観を見極めるための丁寧な対話を重ねたいです。本人が望む人生を自分で決めて歩んでいくための伴走者となれるよう、色々な経験を重ねていきたいです。

就労継続支援B型事業　吉田